

C帯サブ・ワーキング・グループにおける検討状況

○ WRC-19 に向けた課題への対応

次回 ITU-R SG5 会合（本年5月開催）において、ITU-R 勧告 M. 1849-2（気象レーダーの諸元（電子管型＋固体素子型）を記載している文書）の改正を目標として準備を進めているところである。

なお、この改正により、固体素子型気象レーダーの諸元が ITU-R の勧告に初めて位置づけられることになる。

○ 「無線 LAN の DFS における周波数有効利用の技術的条件に関する調査検討」に基づいた対処等の検討

第1回 SWG（H29.11.27）における指摘を踏まえ、DFS の技術的条件に関する現状と課題を第2回 SWG（H30.3.23）において共有した。

その後、本日の合同の作業班において無線 LAN 側とも議論を始めたところであり、引き続き検討を進め、本年6月までを目途に DFS に関する一定の技術的条件の案を取りまとめることとする。